

令和3年度全国学力・学習状況調査の
結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

中学校第3学年・義務教育学校9年生の生徒

3. 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4. 調査日時

令和3年5月27日（木）

II 学力調査の結果【中学校・義務教育学校後期課程】

1. 教科に関する調査結果(平均正答率※)

	国語	数学
全 国	64.6%	57.2%
広島県	65%	57%
府中市	65%	58%
上下中	62%	58%

※平均正答率とは、「生徒の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

2 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題や方向を捉える。 ・質問の意図を捉える。 ・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える。 ・文脈の中における語句の意味を理解する。 ・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。 ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。 ・文脈に即して漢字を正しく読む。 ・事象や行為などを表す多様な語句について理解する。 ・相手や場に応じて敬語を適切に使う。 ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法と減法の計算ができる。 ・具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる。 ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している。 ・関数の意味を理解している。 ・与えられたデータから中央値を求めることができる。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。 ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に解釈することができる。 ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる。 ・相対度数の必要性和意味を理解している。 ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。 ・平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる。 ・錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している。 ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる。

3 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点

【国語】特徴と課題

- ◇話合いの話題や方向を捉える(正答率 92.3%:全国 89.7% 差+2.6%)
- ◇書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える(正答率 80.8%:全国 74.5% 差+6.3%)
- ◆相手や場に応じて敬語を適切に使う(正答率 19.2%:全国 40.3% 差-21.1%)
- ◆伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く(正答率 65.4%:全国 71.9% 差-6.5%)

【国語】改善策

- ◎動作をする人の違いによって、尊敬語と謙譲語を使い分けることや、それぞれ本来の形とは違う言い方であることを確認する。
- ◎言葉遣いによって相手に与える印象が変わることや、敬語を使う意義について考えさせ、日常生活(目上の人と話す場面、手紙やお礼状を書く場面、面接練習等)においても、敬語を使った表現を使い、相手に自分の思いを伝えることができるように指導する。

【数学】特徴と課題

- ◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる(正答率 100%:全国 93.5% 差+6.5%)
- ◇ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる(正答率 88.5%:全国 83.0% 差+5.5%)
- ◆扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している(正答率 61.5%:全国 68.1% 差-6.6%)
- ◆平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる(正答率 30.8%:全国 44.3% 差-13.5%)

【数学】改善策

- ◎ 扇形の弧の長さ・面積のそれぞれの求め方は理解している生徒は多いかもしれないが、中心角と弧の長さ・面積の関係を理解できていない。ただ求め方だけを理解させるのではなく、実際に求めていく過程で自分自身が相互の関係を考え、気づかせるような授業を進める。
- ◎ 証明していく中で根拠を明らかにして説明することができていない生徒が多い。日頃の授業の計算問題等でもなぜそのような答えになったのかお互いに説明する時間を設け、理由を自分の言葉で伝えられるように授業を進める。

Ⅲ 学習状況調査の結果

1 学習状況調査（生徒質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目
(24)今住んでいる地域の行事に参加していますか (77.0% : 全国 43.7% 差+33.3%)
(39)総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(92.3% : 全国 70.2% 差+22.1%)
肯定的な回答の割合が全国平均値よりも低かった項目
(1)朝食を毎日食べていますか(88.4% : 全国 92.8% 差-4.4%)
(14)自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができているか(69.2% : 全国 75.2% 差-6.0%)

2 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

◎ 朝食をあまり食べていない、全く食べていない生徒が1割強いる。軽食コーナーの試行などで、朝食を摂取した方が授業に集中できることなどを実感させることで、正しい生活習慣を身に付けさせたい。
◎ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒や、友達と協力するのは楽しいと思う生徒の割合は高い。総合的な学習の時間などで取り組んだことを発表させる際、「ことば探究科」の学習で身に付けた知識を活用させ、肯定的評価を加えることで自信をつけさせたい。